

広島県経済の動向

令和4年8月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	5月	6月	7月
基調判断	景気は、持ち直しの動きがみられる		景気は、緩やかに持ち直している
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる	
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	持ち直しの動きがみられる		持ち直している
個人消費	このところ持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	底堅い動きとなっている	
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している	

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的に金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や原材料価格の上昇、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和4年7月26日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	5月	6月	7月
基調判断	下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している
輸出	供給制約の影響から、持ち直しが一服している		供給制約の影響が和らぐもとの、持ち直している
生産	足もと供給制約の影響がみられているものの、全体としては持ち直している		供給制約の影響が和らぐもとの、持ち直している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている		一部に弱い動きがみられるものの、全体としては緩やかに改善している
個人消費	下押し圧力は残るものの、持ち直しつつある		持ち直しつつある
住宅投資	横ばい圏内で推移している		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年8月3日公表）】

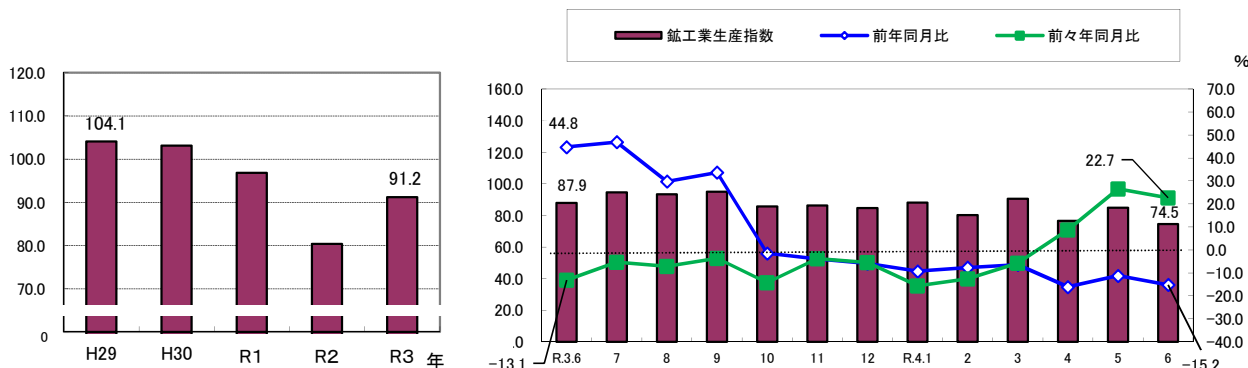
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年6月)

6月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は74.5で, 前年同月比で15.2%減少, 前々年同月比22.7%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

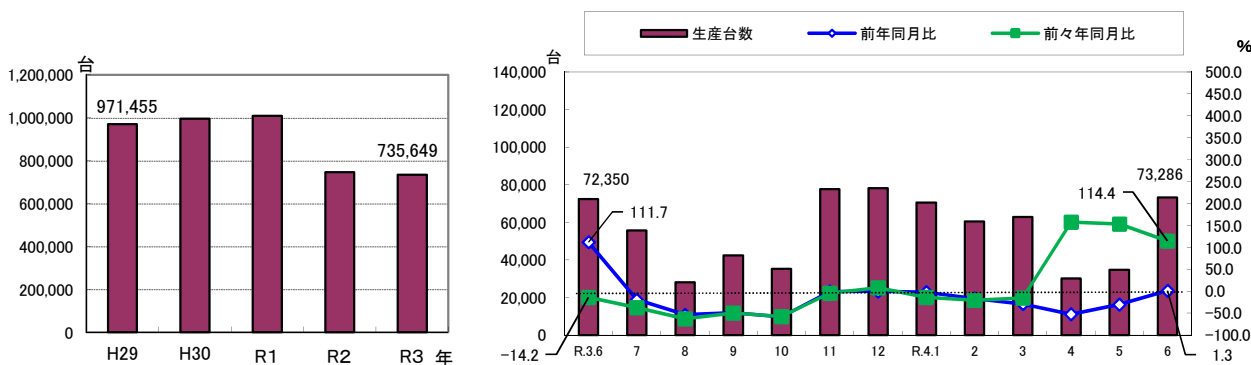


2 自動車(令和4年6月)

6月の国内生産台数は73,286台で, 前年同月比で1.3%増加, 前々年同月比114.4%増加となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

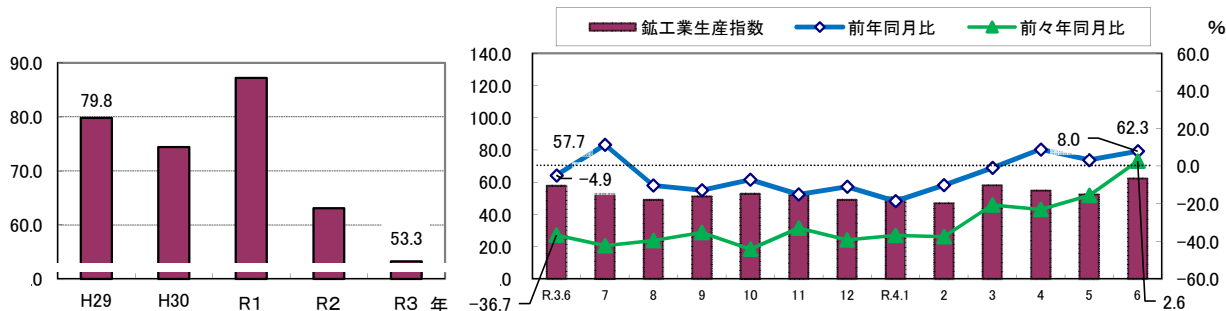


3 造船(令和4年6月)

6月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は62.3で, 前年同月比で8.0%増加, 前々年同月比2.6%増加となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

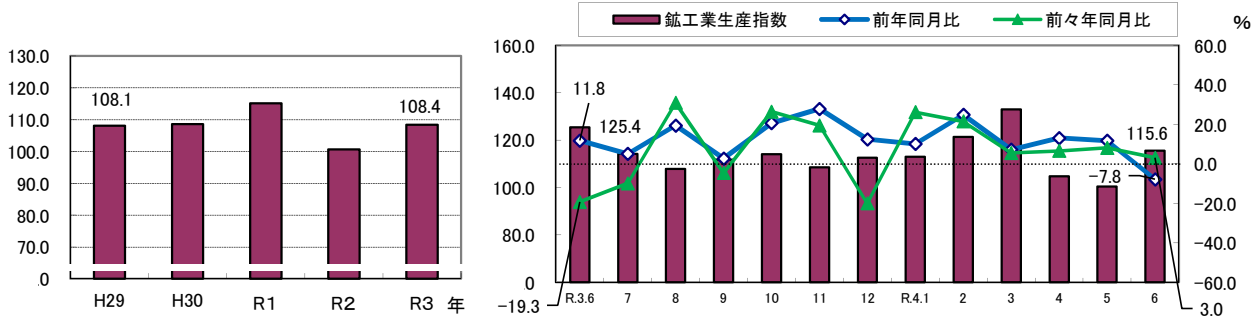


4 一般機械(令和4年6月)

6月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は115.6で, 前年同月比で7.8%減少, 前々年同月比3.0%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

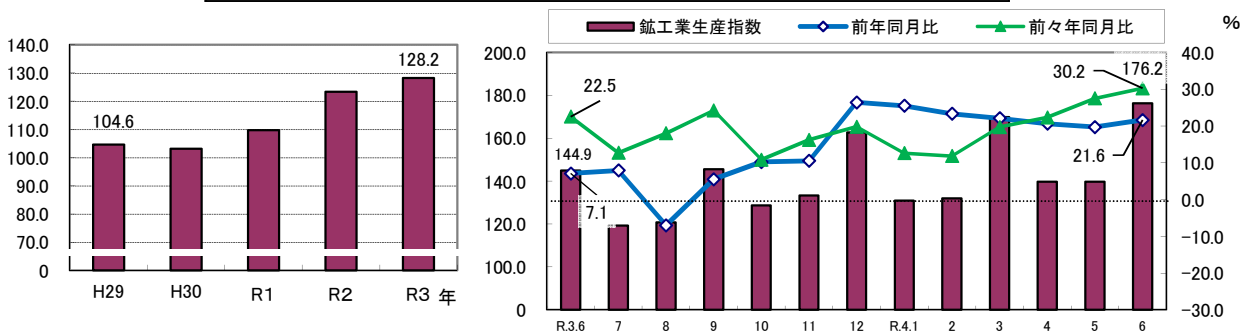


5 電気機械(令和4年6月)

6月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は176.2で, 前年同月比で21.6%増加, 前々年同月比30.2%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和4年6月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年7月15日時点）】

1 概況

景況感ではやや改善が見られるも、原材料等の価格高騰、物流停滞による部材等の調達難、円安傾向、慢性的な人手不足など、様々な懸念事項により、見通しの立たない苦しい状況が続いているため、今後の動向を注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比▲10.3%と12ヶ月連続での前年割れとなる一方で、マツダ車は同+24.5%となった。また、マツダ車の海外販売合計台数に関しては、前年同月比▲41.9%と、10ヶ月連続の前年比マイナスとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比▲4.3%、広島県内の着工戸数は前年同月比+7.0%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	5月の景況感	6月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	普通
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	悪い	やや悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	やや悪い

業種	5月の景況感	6月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	普通	やや好況
自動車部品	やや悪い	普通
造船	やや悪い	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	5月	6月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	4	6	2
やや悪い	13	12	▲1
悪い	3	1	▲2

3 前月(5月)から変化のあった主な業種

業種	5月の景況感	6月の景況感	変化の理由・状況
繊維・衣服	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足，コロナ禍の影響で営業活動ができないのが問題。先月に比べて大きい変化はない。今後，為替の変動の影響をうける可能性がある。 <p>【山陽テクノ協同組合】</p>
プラスチック製品	悪い	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料（特に金属材料）の大幅な値上げが打ち出され，製品価格への転嫁の難しさに苦慮している。 ・円安傾向に拍車が掛かっており，自国通貨の価値低下も懸念事項である。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
電気機械器具	普通	やや好況	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は前月比40%増加，前年同月比15%減少。工作機械の順調な回復基調が要因で，徐々に増収に向かっているが，依然として部材の調達難や価格の高騰は続いている。しかし，今後は海外需要の回復が期待できるため，受注の増加は見込めると考える。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
造船	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・県内，2,500総トン以上の令和4年5月の船舶建造許可実績は3隻，142,190総トンであった。（前月4隻87,350総トン。前年同月1隻，30,000総トン。）なお，内訳は輸出船が3隻で貨物船であった。 <p>【中国地区造船協議会】</p>

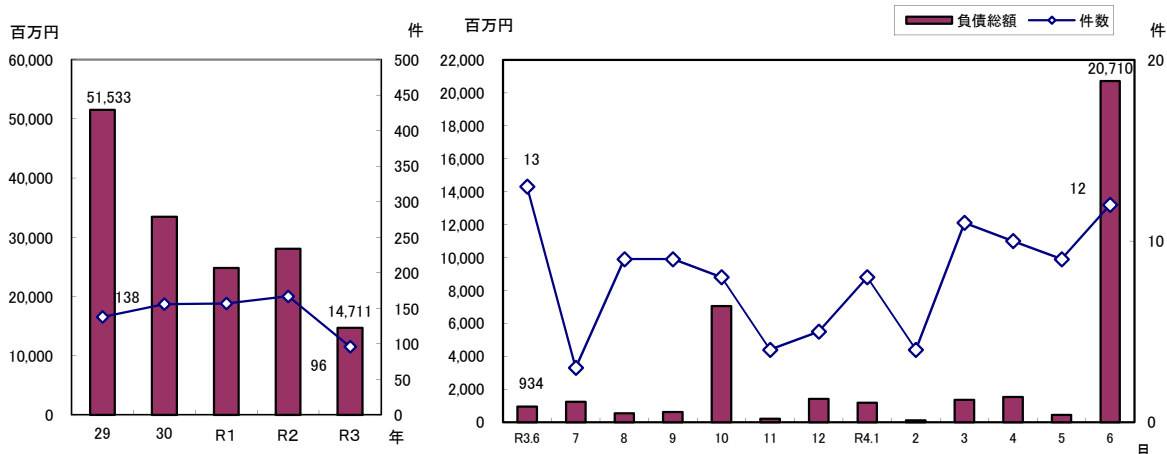
IV 企業倒産状況(令和4年6月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が12件、総額207億1,000万円であった。
- ・前月比で件数は3件増加し、負債総額は202億8,100万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は1件減少し、負債総額は197億7,600万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生は1件あった。

区 分	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月
件 数 (前年同月比)	10件 (25.0%増)	9件 (18.2%減)	12件 (7.7%減)
負債総額 (前年同月比)	1,523百万円 (241.5%増)	429百万円 (62.6%減)	20,710百万円 (2117.3%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が5件、建設業が4件、サービス業が3件となった。負債総額では、卸・小売・飲食業、建設業、サービス業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が10件、設備投資過大、シワ寄せが各1件であった。

4 今後の見通し

令和4年6月度の倒産件数は12件と前年同月比で2ヶ月連続減少、また、令和4年上半期（1月～6月）は54件で前年比4件減となり、昭和40年集計開始以来の年上半期で最小の件数となった。新型コロナウイルス感染拡大後の各種支援策などの効果によって倒産は抑制された状態が続いている。

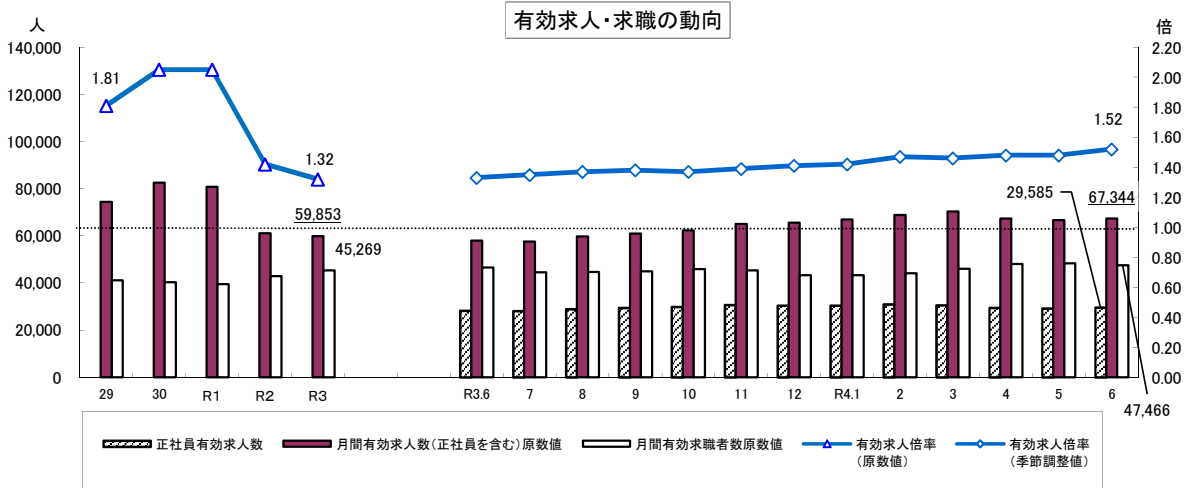
新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着き、制限も解除されて3月以降、経済活動は活発化し、感染拡大の影響を諸に受けていた観光関連業界は今後の全国旅行支援など期待材料も出てきている。しかし、原油価格の高止まりだけでなく、円安進行もあって原材料・資材価格が上昇傾向にあり、大手はコスト上昇分の価格転嫁を進めるが、中小零細規模の企業は上昇分の価格転嫁は容易でない。また、長引くコロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻による不安定な世界情勢の影響も長期化し、原材料や商品の調達に困難な状況も続いており、業績改善への足かせとなっている。このような中、体力の乏しい企業の息切れが懸念され、倒産件数は増加傾向となる可能性が強まっており、近年業績が悪化し、経営改善が進まない企業には目が離せない。

V 最近の雇用失業情勢(令和4年6月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.48倍 (+0.02ポイント)	1.48倍 (±0ポイント)	1.52倍 (+0.04ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.06倍 (+0.06ポイント)	1.05倍 (+0.03ポイント)	1.09倍 (+0.04ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

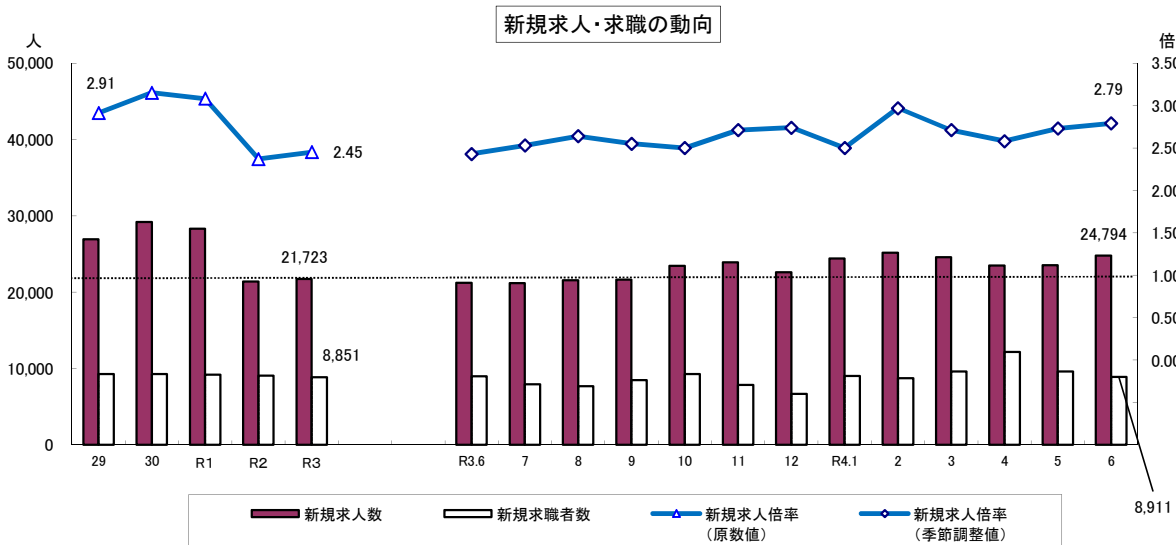
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.58倍 (▲0.13ポイント)	2.73倍 (+0.15ポイント)	2.79倍 (+0.06ポイント)

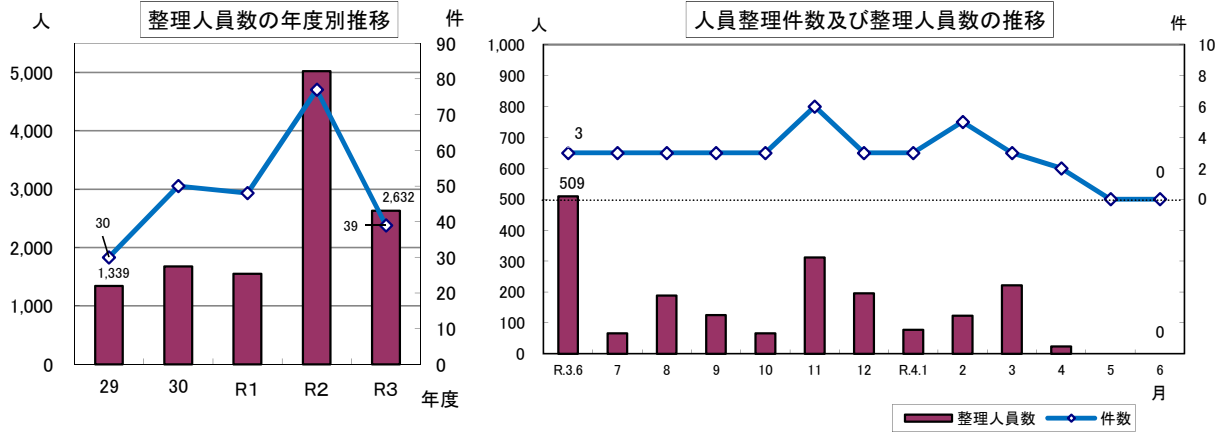
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月
件数 (前年同月比)	2件 (+ 0件)	0件 (▲ 2件)	0件 (▲ 3件)
整理人員 (前年同月比)	24人 (▲ 68人)	0人 (▲ 657人)	0人 (▲ 509人)

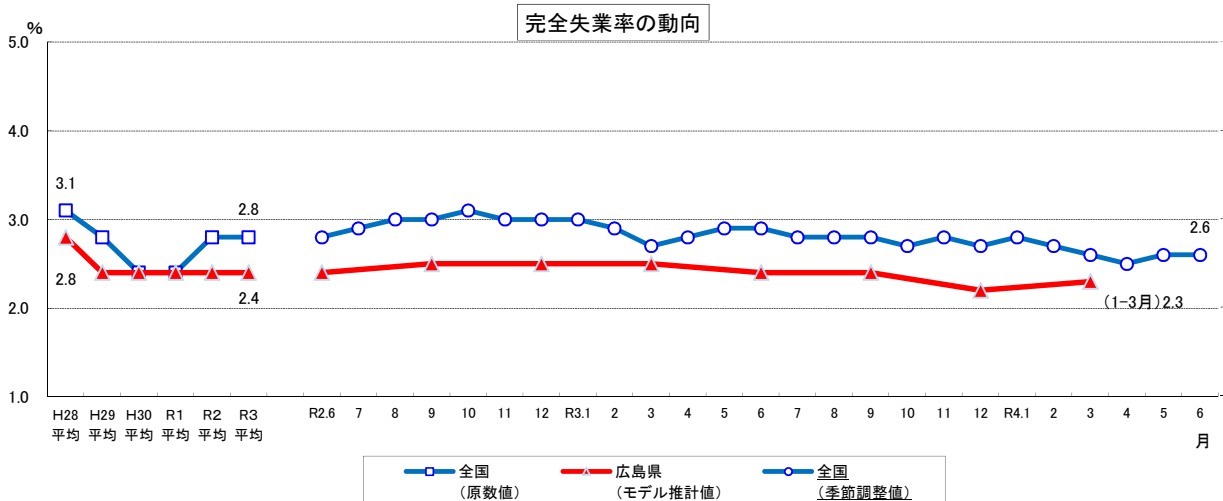


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月
全国完全失業者数 (前年同月比)	188万人 (▲23万人)	191万人 (▲22万人)	186万人 (▲21万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.5% (▲0.1ポイント)	2.6% (+0.1ポイント)	2.6% (±0ポイント)

区 分	令和3年		令和4年
	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.2% (▲0.3ポイント)	2.3% (▲0.2ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。